東京高連ニュース

発　行
東京高齢期運動連絡会
電話03(5956)8781
FAX03(5956)8782
em:tokyo.koureiki@gmail.com
発行人：菅谷正見

さあ！第35回日本高齢者大会in京都へ行こう！

みんなの力で大会を成功させよう

来年の第36回大会は東京大会です

第35回日本高齢者大会in京都は、いよいよあと1か月になりました。東京実行委員会は鋭意準備を進めていますが、長びくコロナ禍でもあり、参加者の組織に難航しています。10月14日現在（締め切り1週間前）で、全体で１００名を超えていません。各地域・団体の一層の取り組みをお願いします。

特に、A，Bコースでの参加を予定されている方は、至急の申し込みをお願いします。

参加費の振込を急いでください

参加申し込みが整理され次第、申し込書記載に従い団体・個人あてに「参加費の納入」を連絡しますので、届き次第、内容を確認のうえ、振り込みをお願いします。

これまでにも参加費の支払いが「大会終了後」になり、実行委員会での会計処理に苦労しています。参加者・各地域・団体の実行委員会でも大変でしょうが、最善のご協力をお願いします。

また、すでに申し込みされた方には、健康管理に気を付け、途中の変更がないようにお願いします。

大会資料等の送付について

参加申し込み締め切り次第、申込書に従い団体、個人あてに大会資料・参加証等をお届けしますので、届き次第、内容を確認し、間違いがありましたら至急連絡下さい。

旅行補助等について

自治体からの旅行補助を受けるために必要な準備書類や、手続き方法については、大会資料と一緒に送付しますので、内容を見て、その連絡に沿って準備してください。

現在わかっていることは、

○コロナワクチン接種が３回終了の証明が必要。
○旅行前日（11月20日・21日・22日）以前のＰＣＲ検査の陰性（－）証明
○現住所の確認できる書類（運転免許書・健康保険初・マイナンバーカード等々）

以上の書類は、すべて**コピーは「不可」**で、実物を旅館に提示しなければなりませんので、補助金を申請される方は、必ず当日持参ください。

詳細は、後日参加者個々人にお知らせします。

第３６回日本高齢者大会in東京の準備会スタート東京大会が楽しみだ！

準備委員会　責任者　吉岡　尚志

11月23日、24日には日本高齢者大会京都大会が開催されます。

来年２０２３年の第３６回日本高齢者大会は東京で開催されます。開催が決まってまだ2か月余り。しかし、準備は着実に始まっています。

２０１６年に３０回大会が東京で開催されて６年余り。前回開催を担ったメンバーと新たなメンバーが協同する体制が出来つつあります。

８月末にスタートした準備委員会。コロナ禍で合宿に変えて「ロング会議」をもって話し合いました。３０回大会時に比べても高齢者をめぐる状況は様変わりで、困難は一層増しています。７５歳以上の医旅費窓口負担は２倍になり、物価高がのしかかります。

こんな状況の中で高齢者が希望をもって生活できる社会にするために高齢期運動、高齢者大会で何ができるかを真剣に話し合っています。いまなぜ高齢期運動が求められるのか、なぜ高齢者大会が必要か、確信を持てるまで話し合おう。腹に落とそう、団結を固めようとさらにもう１回話し合います。

準備委員会には３０回大会で責任者を務めた小嶋副会長もアドバイザーとして参加し、準備会の

責任者は副会長の吉岡が担います。菅谷事務局長も参加し、これから本格的に準備に入ります。

事務局次長の糀谷さんや工藤さん、経験豊富な入月さんや高藤さんが委員として参加。

1月からは実行委員会がスタート

12月には準備委員会は役割を終え、実行委員会に衣替えします。

来年は日本高齢者人権宣言を高齢期運動のベースに据え、本格的に実践に移す年でもあります。集中的に準備を進め、人権宣言を軸に地域組織を活性化し、価値ある、魅力ある日本高齢者大会・東京大会を実現しましょう。各地の連絡会の皆さんと連帯し、意見交換しながら、高齢期運動の未来を切り開く東京大会にしましょう。力を合わせて成功させましょう。

高齢者医療費2倍化強行に抗議し 社会保障破壊ストップの運動を！

高齢期運動連絡会は、社会保障推進協議会・年金者組合・医療団体連絡会議などと共に、「75歳以上の患者窓口負担2倍化中止」の要求をかかげて、運動を展開してきました。

2倍化が強行された10月1日には、新宿東口から駅を大きく一周する「10・1怒りの新宿デモ」を実施しました。

10月1日に負担2倍化が強行される中で、年金者組合や医療関係団体からは、窓口での悲鳴に似た声が報告されています。

2倍化の実態を明らかにし、中止・凍結を迫る

窓口負担2倍化の直接の被害を受ける1人1人の高齢者の生の声、事例、それに対応する現場の苦労を具体的につかんで、実態を広く宣伝ながら、政府に「予算措置を行って、2倍化をただちに中止・凍結せよ」と要求していきましょう。

さらに、医療費窓口負担ゼロ、75歳以上を差別する後期高齢者医療制度の廃止を粘り強く要求していきましょう。

１０・１怒りの新宿デモ行進

新自由主義を押し返す大きな運動へ

負担増は、これにとどまりません。介護保健利用者負担原則2割化・要介護1，2の保険はずしなど、介護保険制度の大改悪が具体化されようとしています。この道の先には、全世代の社会保障総崩れの未来が待っています。

10月14日に行われた巣鴨駅頭宣伝行動では、呼びかけに応えて、介護保健改悪反対の署名に50筆を越える署名が寄せられました。

介護制度改悪に反対する運動に、各団体との連携を深めて取り組みましょう。青年との交流をも重視しながら、『人権を守れ』の旗を高く掲げ、議論を重ね、「全世代型社会保障」路線、新自由主義路線と対決する大きな運動の輪をひろげましょう。

75歳以上の窓口負担 2倍化について

2倍化される人は

10月1日から、75歳以上で今まで医療費窓口負担が1割だった人のうち、①世帯内に住民税課税所得28万円以上の人がいる。②年金収入とその他の収入を合わせて、単身で200万円以上、2人以上の世帯で合計320万円以上の収入がある（年金収入は控除なし、その他の収入は控除がある）の2つの条件に当たる人が2割負担になります。

受診控えは命にかかわります。医療費の問題で困ったときは、遠慮せずに相談しましょう。

全日本民主的医療機関連合会は「医療費にお困りの方は職員にご相談下さい」というポスターを病院、診療所にかかげています。

「配慮措置」とは

はじめの3年間だけ、外来医療にかぎって、1カ月の負担増加額が3000円以内になるように措置されます。（負担額でなく2倍になることによる増加額です）

1か月の外来の窓口負担が、1割負担だと40

００円の場合は、２割負担になると８０００円になり、４０００円増加しますが、このうち３０００円を越す分の１０００円が戻されます。

１つの医療機関の場合は、窓口でその分が軽減されますが、複数の医療機関にかかっている場合の合計の増加が１か月３０００円を越す場合は、越した金額が口座に振り込まれます。（振り込みは４か月以上かかるといわれています）

払戻金用の口座の登録

振り込む口座を登録すると、払戻金はその口座に振り込まれます。すでに高額医療費の振込口座が登録されている人は、その口座が使われます。登録していない人には登録申請書が郵送されて来ます。登録手続きをしていない場合、払戻金が発生した時点で支給申請書が送られてきて、それで申請することになります。

ただし、この制度は外来通院だけで入院には「配慮措置」はありません。

高額療養費制度の活用を

入院には、負担増３００円の上限はありません。今まで１割負担で５万円の入院なら10万円かかるようになります。

窓口負担が一定額を超えた場合には「高額療養費制度」が使えます。

今回窓口負担が２割になる人は、外来＋入院の窓口負担が一世帯あたり月５７６００円を越える分は、高額療養費を申請すれば払い戻されます。

分からないことがあれば、仲間と話し合い、困ったときには年金者組合や民医連の病院、診療所の窓口に相談しましょう。怒りを共有しあい、社会保障改悪を止めさせる闘いに　ともに立ち上がりましょう。

９月１７日葛飾高齢者の集い・総会開かれる

社会保障充実を求める活動などの方針を確認

９月17日（土）　13：30～　葛飾のシンフォニーヒルズで、「住み続けられる葛飾、高齢者にやさしい葛飾めざして」第８回葛飾高齢者の集い＆高齢者懇談会総会が行われ31名が参加しました。

つどいでは、医療制度研究会の本田宏さんが講演　医療、社会保障から、新自由主義的な経済の問題まで幅広く話されました。

葛飾高齢者懇談会は、本田さんの了解を得て講演をユーチューブにあげ、参加できなかった人も視聴できるようにしました。

つどいに引き続いて、高齢者懇談会の総会が行われ、後期高齢者医療費２割負担中止や介護保険料・国民健康保険料の引き下げを求めて区内各団体と協力することなどの方針を確認しました。

葛飾退職教職員の会の西川正二さんが会長に、東京葛飾医療生協の吉野五郎さんが事務局長に選出され、年金者組合、区労連、生活と健康を守る会、介護をよくする会、東京土建建長会、葛飾健康友の会、在宅介護家族の会・ふきのとうなどから１０人の世話人が選出されました。葛飾高齢者懇談会は、各団体の他に４０名を越える個人会員が加盟しています。

京都大会に10名を超える参加を

葛飾では、カンパを集めて参加者の負担を軽減し、高齢者大会in京都へ１０名を越える参加者を送り出すことをめざして取り組んでいます。

東京で初「九条の碑」

柳原リハ病院隣接地に

６月に19日、東京ではじめての「九条の碑」が柳原リハビリ病院の隣接地に設置され、除幕式と完成のつどいが行われました。小森陽一氏や伊藤千尋氏をはじめ健和会の職員など１７０人を超える市民と関係者が集まりました。碑はステンレス製の球体で、憲法９条の条文が刻まれています。

設計者の吉田氏は、「この碑を見に来られた人が９条の条文を読むその姿が映し出されることで、いま生きていることで、いま生きているあなたが９条を守るのですよ」というイメージで設計したと語りました。

現在の健和会の礎となった「柳原診療所」の活動拠点に設置された「９条の碑」、下町に来るようなことがあったら是非お立ち寄りください。（三好澄生・健和会）『年輪第39１号』「東京民医連退職者の会」ニュースより

高齢者も若者も手をつなぎ いのち・くらしを守る政治を！ ～憲法を生かし「高齢者人権宣言」で豊かに！～

まちから村からの連帯で ひとりぼっちの高齢者をなくそう

第35回 日本高齢者大会in京都 11/23(水祝) 11/24(木)

全体会

11月24日(木) 10時　●オンライン参加可能
ロームシアター京都 メインホール
- ●オープニング 狂言「蝸牛」 茂山社中
- ●基調報告と日本高齢者人権宣言
- ●記念講演 山極 壽一 さん（前京都大学総長）

積極的な参加者組織を!!

地域・団体で参加の取り組みを進めましょう
分からないことは、遠慮なく問いあわせて下さい。

❶ 第2次集約（右の(A)・(B)コース）

10月20日(木) 23区の地域・東京の団体は東京高齢期運動連絡会へ、三多摩の地域・団体は三多摩連絡会へFAXで申し込んでください。
(C)・(D)コースは、11月10日まで受け付けます。

❷ 申込書に「参加予定講座または分科会」を

講座・分科会の会場が分散し、それぞれに定員があるため、参加予定講座・分科会を集約することになりました。申込書に必ず参加予定講座・分科会をご記入ください。

❸ 「移動分科会」「夜の交流会」参加者は

右の(A)(B)で申し込みの方で、移動分科会や夜の交流会参加の方は、終了後琵琶湖観光ホテルまで各自で来ていただきます。ご承知おきください。なお、遅い時刻でも食事はできるようにします。

東京からの参加

(A) 往復ツアー

往復新幹線指定席＋京都市内バス移動＋宿泊（おごと温泉 琵琶湖グランドホテル）
費用は参加費含めて 50,900 円

(B) 往きはAと同じ 帰りは別行動

往き、宿泊などは、Aと同じ、全体会終了後の行動・帰りの新幹線などは、各自で計画し確保する 費用は参加費含めて 37,700 円

(C) 大会参加のみ

交通・宿泊などは各自で計画し確保する
大会参加のみ 費用は、1 日の場合 3,000 円
2 日間の場合 6,000 円（東京実委分担金含）

(D) WEBで参加

●全体会と、●第1学習講座、●第4学習講座、●第1分科会をYoutube配信します。接続のためのデータは「しおり」等の資料郵送のときにお知らせします。費用は、1日の場合 1,500 円 2 日間の場合 2,500 円（東京実委分担金含）

※「交通などは自分で計画し確保するが宿泊は合流したい」など、上に当てはまらない場合は、東京実委にご相談下さい。

最新情報・参加要項・申込書などのダウンロードは東京高齢期運動連絡会のホームページから
http://koureiki.main.jp/html/t/nihon.html